

白内障手術

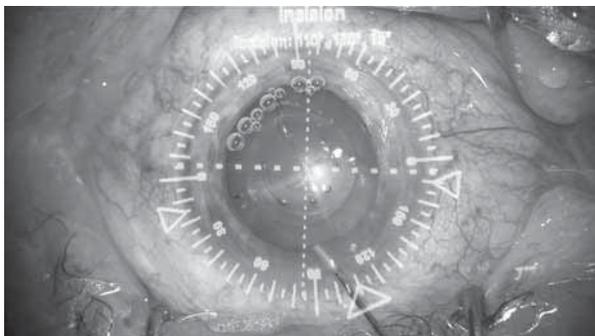
白内障は加齢や全身合併症により、**どなたにでも起こりうる現象**です。
こわい病気ではありません。
見えにくく生活に支障をきたした場合は、手術で取り除き、かわりに人工の
眼内レンズを挿入します。

**当院では保険適応の単焦点および乱視矯正用の眼内レンズのほか
自費診療での多焦点眼内レンズにも対応しています。**

(多焦点眼内レンズは目の条件によりおすすめ出来ない場合があります。)

日帰りでも入院でも、ご要望に柔軟に対応いたします。

(日帰りの場合は手術した眼に眼帯を装用してのご帰宅、また翌日もそのまま外来
診察にお越しいただく必要があり、危険ですので、特別なご事情がなければ入院で
の手術がおすすめです。)



最先端の術中眼球追尾機能を備えた
アルコン社のベリオン®を導入しました。
外来での検査データを手術中の眼球にリアルタイム
で投影することにより、とても**再現性の高い手術
が可能**です。



アルコン社ベリオン®

私たちが治療しています

現在、常勤医師 1 名、非常勤医師 4 名で診療にあたっています。

手術は月曜日全日と水曜日午前です。



眼科部長 井上由美子

井上は平成 6 年に大分医科大学（現 大分大学医学部）を卒業後、大阪大学附属病院、国立病院機構大阪南医療センター、市立堺病院、公立学校共済近畿中央病院などに勤務後、平成 19 年 7 月に眼科医長として当院に着任し、平成 21 年 5 月から眼科部長を務めています。

大阪大学大学院では遺伝性眼疾患の遺伝子変異検索をテーマに研究を行い、伴性劣性遺伝網膜分離症の新規遺伝子変異の同定により医学博士号を授与されました。当院では眼科全般について幅広い疾患領域に対応できるよう努力しています。